

## 文部科学省でのインターンシップ

物理学専攻、博士課程 2 年、三宅克馬

私は、2016 年 10 月から 12 月の間、週に一日の頻度で、文部科学省 研究開発局 宇宙開発利用課でのインターンシップに参加した。私はそこで、職員の方々に業務内容を聞き込むことで、文部科学省全体の業務や、政府の宇宙政策に係る役割、今後の日本の宇宙政策について学ぶことができた。他にも、職員の方々の日々の業務を目の当たりにすることで、日本の行政がどのように回っているのかを垣間見ることができ、大変興味深かった。

インターンシップ中の課題として、現在行われている様々な宇宙開発計画について調べるとともに、それを専門外の方にもわかりやすく説明するよう求められた。これは、私たちの研究内容の発表においても同様に求められるものであり、その重要性を再確認することとなった。